＜議題２　資料＞

令和８年度　舞鶴市立図書館事業計画（案）

Ⅰ．中央図書館の整備と図書館機能の再編

１．予算案：９６９，６１９千円

（予算事業）

（１）中央図書館整備事業費　　：９１６，８００千円
（２）図書館再編推進事業費　　：　１１，５０１千円
（３）図書館システム更新事業費：　４１，３１８千円

２．主な事業内容

（１）中央図書館の整備

多くの市民からの意見を踏まえ作成した中央図書館実施設計に基づき、西舞鶴駅東口への中央図書館の整備工事を行う。

（２）新たな分館の検討と分館の充実化

・中、南、加佐の３分館とのネットワーク構築。
・３分館の資料のデータ化による電算管理の実施。
・東西図書館から３分館への本の巡回を継続実施。
・３分館での東・西図書館司書による読み聞かせ等の実施を拡大。

（３）中央図書館の運営・サービスの計画

・新たな図書館システムを活用した図書館サービスの向上。
・東・西図書館と３分館のどこでも相互の貸出・返却・予約・検索等ができるよう利便性を強化。
・スマートフォン連携による貸出・予約の効率化。
・自動車図書館導入に向けた実証実験の実施。
・図書館運営を協働で行うサポーターの拡大。

（４）図書館システムの更新

Ⅱ．図書館協議会の開催

１．予算案：図書館協議会運営費　３６４千円

２．事業：舞鶴市図書館協議会の運営（定員１０名以内）

・図書館法第１４条、舞鶴市立図書館条例第６条に基づき、平成３０年４月から設置している舞鶴市の附属機関。
・「図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に意見を述べる機関」と規定されており、図書館のあり

かたや、図書館機能の再編の取り組みなどについて協議。
・令和８年度　３回開催予定。

Ⅲ．資料充実事業

１．予算案：図書資料等充実経費　５５，３７５千円

２．資料収集方針

（１）収集方針、選書基準に沿って、市民や地域が抱える課題の解決を支援できる。
（２）資料をはじめ、広く市民の生活、仕事、文化、教養、調査研究、趣味、娯楽等に資する内容の資料を収集する。
（３）図書館再編後を視野に、分館を含む全館の魅力ある蔵書構築に向けて、計画的に資料の購入を進める。
（４）再編までの助走期間の利用促進にもつなげられるよう、各分野の必備資料の整備や、利用の多い図書の買い替えなども行う。
（５）学校を含めた様々な連携機関への支援を見据えた資料収集に努める。

Ⅳ．東・西図書館及び分館の運営

１．予算案：１４，３６９千円

（予算事業）

（１）館管理運営経費：１４，３３６千円

（２）日本図書館協会等負担金：３３千円

２．主な事業内容（取り組み）

（１）課題解決支援促進のための取り組み

図書館の利用拡大、機能向上、サービスの強化などにつながる取り組みの推進。

①レファレンスの充実

・カウンター業務を重視し、利用者のニーズの的確な把握に努める。
・他の図書館と協力した相互貸借の推進と市民が求める情報の提供の強化。

②情報発信

・市の広報紙「広報まいづる」への連載記事の継続。
・市公式ホームページ内の図書館課ホームページの内容整理・充実。
・ＳＮＳの活用等を進め、幅広い世代に情報を届ける。
・新システムの構築に伴い、舞鶴市立図書館独自のホームページ等の発信準備を進める。

③図書館行事・展示の企画

・おでかけ図書館、成人向けの講座等、学びの機会の提供。
・起業、認知症等の展示、生活に役立つ情報提供、関連機関へのレフェラルサービス（信頼できる窓口紹介）の実施。

（２）各機関との連携・協働事業

①学校との連携

１）ブックトーク

東・西図書館の司書が小学校等を訪問して、テーマに沿って本を紹介し、読書意欲や本への親しみを促す取り組み。

（小学校１８校、支援学校３校　計２１校　のべ１００時間を予定。）

２）貸出文庫

図書館から遠距離にある小学校、支援学校を対象に、１校当たり１００冊を２カ月ごとに配達、貸出

・東地区：７校×１００冊×６回　４，２００冊

・西地区：６校×１００冊×６回　３，６００冊　　計７，８００冊予定

３）資料提供等の支援

・団体貸出により、読書や授業に対応する資料を提供する。

・中学校との連携の強化（学校図書室の支援）

・京都府立図書館学校支援セットの積極的な活用。

４）中学・高校との連携

・日星高校とのボードゲームイベントの企画、運営。

・中高生サポーターとの協働。

②庁内各課との連携

・舞鶴こども園、あそびあむ、西支所等への資料提供の拡充。

・各課イベント、行政サービス PR・強化月間等とのコラボ展示。

・業務に関連するレファレンス。

③他機関との連携

・商店街イベント等へのおでかけ図書館。

・企業、団体からの雑誌スポンサー制度の推進。

・京都府立図書館、第八管区海上保安庁、海上自衛隊等との共催イベント、関連図書の展示。

④その他の連携

・ボランティアとの連携。（お話しボランティアなど）

・他市図書館との連携。

（３）図書館司書研修の実施

司書に求められる専門的知識やスキルを向上させるため、全職員を対象に、研修を実施する。

・課内研修（外部講師、司書相互）の実施。

・外部研修（ビジネス支援図書館推進協議会講習会等）への参加。

・国立国会図書館、京都府立図書館等が主催する研修の受講。

・先進的な取り組みを行う図書館への視察。

Ⅴ．図書館ふれあい事業

１．予算案：図書館ふれあい事業費　３０５千円

子どもの読書啓発につながり、図書館への親しみを深めるための行事や成人向けの講座などを行い、図書館利用を促進する。

２．主な事業内容

（１）定例の催し

①赤ちゃんおはなし会（東・西図書館　各毎月１回）

・対象：０歳～２歳児　／　・内容：わらべうたや絵本の読み聞かせ

②えほんのじかん（東・西図書館　各毎月１回）

・対象：３歳以上の子ども　／　・内容：絵本の読み聞かせ

③おはなしの部屋（東・西図書館で年１０回）

・対象：小学生

・内容：ボランティアグループと図書館が協働で実施
ろうそくの灯りをイメージした照明の部屋で、ストーリーテリング等

④読書会（東図書館　毎月１回）

・対象：一般　／　・内容：主には文芸作品について感想や意見を交流する

（２）季節の催し等

①子どもの読書週間行事（東・西図書館　各１回）

・対象：幼児と小学生

・内容：読み聞かせなどのおはなし会。（事前申し込み制）

②おたのしみ会（東・西図書館　各３～４回）

・対象：幼児と小学生

・内容：ボランティアグループと図書館が協働で実施
人形劇、紙芝居、大型絵本等。（事前申し込み制）

③工作・自然科学教室（東・西図書館で年２回）

・対象：小学生

・内容：蔵書を活用した工作や科学に親しむ内容で企画。事前申し込み制

④読書週間行事（東・西図書館　各１回）

・対象：一般

・内容：読書週間（１０～１１月）に実施。（事前申し込み制）

⑤成人向け講座（東・西図書館　各１回）

・対象：一般

・内容：課題解決支援につながるテーマで実施予定。（事前申し込み制）

Ⅵ．電子図書館運営事業

１．予算案：電子図書館運営経費　５，６５０千円

令和５年３月から開始した電子図書館の利用を促進するため、新鮮なコンテンツの提供、図書館内外でのイベントでのＰＲ、学校等での利用説明会の実施に取り組む。

２．学校への利用促進

＜議題２　資料＞

ＧＩＧＡスクール構想により配布されたタブレット端末を用いて、舞鶴市立図書館電子図書館が利用できるよう、市立小中学校の全児童生徒及び教職員に対して、ＩＤとパスワードを付与。（令和５年５月から開始し、継続中）